

JIS G 3101 (2004)

一般構造用圧延鋼材 Rolled steels for general structure

- 1.適用範囲 この規格は、橋、船舶、車両その他の構造物に用いる一般構造用の熱間圧延鋼材(以下、鋼材という。)について規定する。
- 3.種類及び記号 鋼材の種類は4種類とし、その記号は表1による。
- 4.化学成分 鋼材は、8.1の試験を行い、その溶鋼分析値は、表2による。
- 5.機械的性質 鋼材は、8.2の試験を行い、その降伏点又は耐力、引張強さ、伸び及び曲げ性は、表3による。

●表1 種類の記号

種類の記号	適用
SS400	鋼板、鋼帯、形鋼、平鋼及び棒鋼

●表2 化学成分

(単位：%)

種類の記号	C	Mn	P	S
SS400	-	-	0.050以下	0.050以下

●表3 機械的性質

種類の記号	降伏点又は耐力 N/mm ²				引張強さ N/mm ²	鋼材の厚さ(1) mm	引張試験片	伸び %	曲げ性				
	鋼材の厚さ(1) mm								曲げ角度	内側半径	試験片		
	16以下	16を超え 40以下	40を超え 100以下	100を超え るもの									
SS400	245 以上	235 以上	215 以上	205 以上	400~510	鋼板、鋼帯、平鋼、形鋼の厚さ 5以下	5号	21 以上	180°	厚さの 1.5倍	1号		
						鋼板、鋼帯、平鋼、形鋼の厚さ 5を超え16以下	1A号	17 以上					
						鋼板、鋼帯、平鋼、形鋼の厚さ 16を超え50以下	1A号	21 以上					
						鋼板、平鋼、形鋼の厚さ 40を超えるもの	棒鋼の径、辺又は対辺距離 25以下	棒鋼の径、辺又は対辺距離 25を超えるもの	4号	23 以上	180°	径、辺又は 対辺距離 の1.5倍	2号
									2号	20 以上			
									14A号	22 以上			

注(1) 形鋼の場合、鋼材の厚さは、付属書1図1の試験片採取位置の厚さとする。
棒鋼の場合、丸鋼は径、角鋼は辺及び六角鋼は対辺距離の寸法とする。

JIS G 4303 (2005)

ステンレス鋼棒 Stainless steel bars

- 1.適用範囲 この規格は、熱間仕上げステンレス鋼を熱間で丸、角、六角及び平板に成形した棒状又は板状の製品(丸鋼、角鋼、六角鋼及び平鋼を総称して、以下、棒という。)について規定する。
- 3.種類の記号 棒の種類は、61種類とし、その種類の記号及び分類は、表1による。
- 4.化学成分 4.1溶鋼分析値 棒は、12.1の試験を行い、その溶鋼分析値は、表2による。
4.2製品分析値 注文者が製品分析を要求する場合、12.1によって試験を行い、その値は、表2の値に、JIS G 0321の表5による許容変動値を適用する。ただし、JIS G 0321に規定されていない元素の許容変動値については、受渡当事者間の協定による。

●表1 種類の記号及び分類

種類の記号	分類
SUS304	オーステナイト系

●表2 オーステナイト系の化学成分

(単位：%)

種類の記号	C	Si	Mn	P	S	Ni	Cr	Mo	Cu	N	その他
SUS304	0.08 以下	1.00 以下	2.00 以下	0.045 以下	0.030 以下	8.00~ 10.50	18.00~ 20.00	-	-	-	-

- 5.機械的性質 棒は、12.2の試験を行い、その機械的性質は、次による。
5.1オーステナイト系の機械的性質 オーステナイト系の機械的性質は、表7による。この場合、供試材は、JIS G 0404のA類による。ただし、耐久は特に注文者の指定がある場合に、適用する。

●表7 オーステナイト系の機械的性質

種類の記号	耐力 N/mm ²	引張強さ N/mm ²	伸び %	絞り(4) %	硬さ(5)		
					HBW	HRBS又はHRBW	HV
SUS304	205以上	520以上	40以上	60以上	187以下	90以下	200以下

注(4) 平鋼には適用しない。ただし、注文者の指定がある場合は、受渡当事者間の協定による。
(5) 硬さはいずれか1種類を適用する。

